平成２５年８月１６日
北上川ダム統合管理事務所

８月９日低気圧の影響による出水

御所ダムに大量に貯まった流木、緊急撤去に着手

～ 約26,000m3(平年の約25倍)にもおよぶ流木等を緊急撤去 ～

北上川ダム統合管理事務所の御所ダムでは、８月９日からの低気圧に伴う出水により大量に流木やゴミが貯まっており、緊急撤去を行います。

平成２５年８月９日の低気圧の大雨による洪水で、御所ダムのダム湖内に、平年の約２５倍に相当する約２６，０００ｍ３の大量の流木やゴミ等が貯まりました。

このまま放置するとダムのゲートなどの管理施設の操作に支障があるため、貯まった流木の撤去に着手しました。

【ダムによる流木捕捉の効果】

流木やゴミがそのまま河川に流れた場合、橋に引っ掛かり流下を阻害したり、取水の障害となったり、河川環境を悪化するなどの被害が予想されます。ダムで捕捉することにより、流木による二次的な被害軽減にも貢献しています。

○ダムに関する情報につきましては、当事務所のホームページでご覧頂けます。
ホームページ URL　http://www.thr.mlit.go.jp/kitakato/

発表記者会：岩手県政記者クラブ

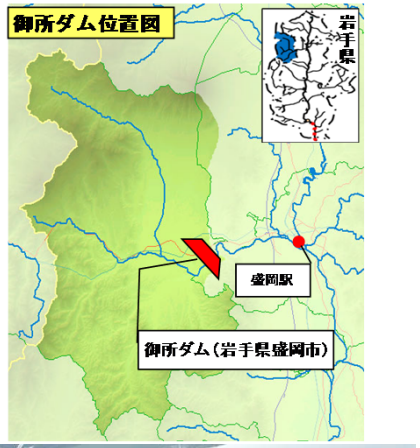
問い合わせ先

国土交通省　北上川ダム統合管理事務所
副所長（技術）　高橋　大三　（内線２０４）
管理第一課長　中島　勇一郎　（内線３３１）
℡　０１９－６４３－７８３１（代表）

御所ダムの流木捕捉効果（平成25年8月9日低気圧）

資料1

洪水時には水だけでなく樹木等も一緒に流れてきます。
今回の出水により、ダムで捕捉した流木の量は、**約26，000㎥**（H19.9洪水の約7倍、平年の約25倍）であり、この量は、**25mプール約60杯分**に相当します。
ダムがなかった場合は、流木がそのまま河川へ流れ、橋に引っかかり流下を阻害したり、取水口を閉塞して取水の障害となったり、海まで流下して大きな被害が予想されます。
このように、ダムは洪水の軽減だけでなく、流木による二次的な被害軽減にも貢献しています。



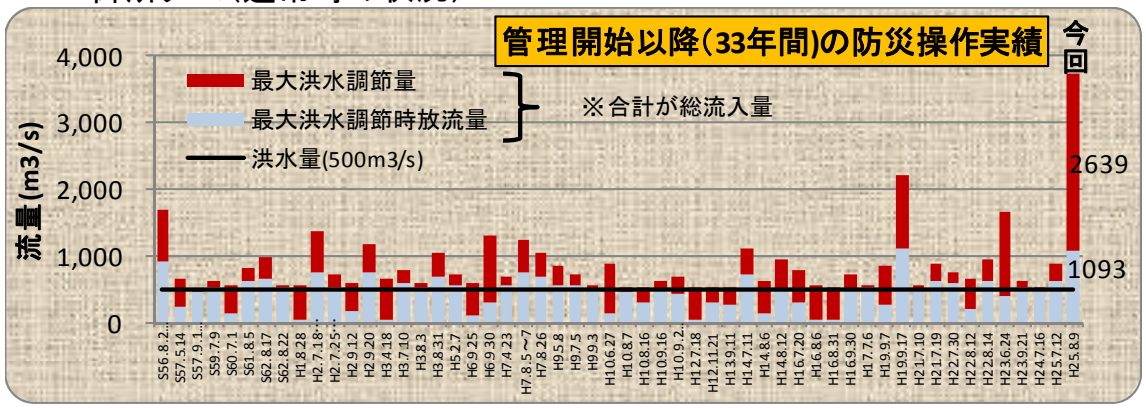


御所ダム（通常時の状況）



H25.8.16　御所ダム流木状況

◆ダムがなかった場合◆
橋に引っかかった流木（事例）



※数値は速報値



H19.9.18御所ダム流木状況

御所ダム流木捕捉量

H19.9.17	H25.8.9
約3,600㎥	約26,000 ㎥

H19洪水の約7倍（平年の約25倍）

H25.8.9洪水25mプール約60杯分に相当
（L25m×W13m×H1.3mとした場合）

御所（ごしょ）ダムの流木撤去状況（平成25年8月9日低気圧）

資料2







